

拜啓 曆の上でありますが立秋が来て 朝夕は
凌ぎまくなりましただし 日中は残暑が執拗
です

御機嫌麗はしく御過しのことと存じ上げます
叔此度は詩誌創刊の記念として結構な品賜り
有難く厚く御礼を申し上げます たいへん結構な品
にて左のしくいたいて居ります

御芳情ありがたく厚く御礼を申し上げます
新詩誌はいつごろ刊行にたりますか
左のしみにし期待して居ります

先は御礼まで申し上げます 残暑きどしき折柄御
自愛を祈ります 敬具

昭和五十一年八月十日

田中冬二

竹久明子様

八月十日

日野市豊田四二二

田中冬二

191-□□